

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

| | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----------------|----------------------|--------------------------|------|-----------|---------------|-----|
| 事業名 | 文化観光戦略推進事業 | | 担当部局庁 | 内閣府政策統括官(沖縄政策担当) | | 作成責任者 | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成23～25年度 | | 担当課室 | 企画担当参事官室 | | 企画官 和久屋 聡 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | 9. 沖縄政策の推進 | | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 沖縄振興特別措置法 | | 関係する計画、通知等 | 沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定) | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 沖縄には、エイサー、ハーリー、組踊、空手、オキナワンロックなど、特色ある文化・芸能資源が豊富に存在。これらを沖縄振興計画(平成14年7月内閣総理大臣決定)及び「沖縄21世紀ビジョン」(平成22年3月沖縄県策定)で謳われているように、観光資源として活用し、新規市場の開拓、観光客の「もう1泊」の滞在、地域主体の魅力ある文化・芸能の取組の創出を図る。これにより、平均滞在日数、入域観光客数、観光収入、観光客一人当たりの県内消費額の増大、文化・芸能分野の人材育成等を目指す。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | ①沖縄の文化・芸能を活用し、観光誘客を目的とした持続可能な地域主体のイベント(提案公募)の事業化支援及び有識者による評価のフィードバックを通じた効果的な取組の新規創出。 ②観光と文化・芸能分野の連携を図り、相互作用を高め、持続的な観光振興、文化・芸能の活性化等を図る文化観光戦略の策定のための調査・検討。 ③県内の既存施設を積極的に活用し観光誘客を図ることを目的とした、文化・芸能関係者と観光客の交流発信拠点づくりのための調査・検討。 ④県外観光客の誘客を目的に、沖縄の文化・芸能の魅力を紹介する県外派遣公演(国内・海外)の実施。 事業主体: 沖縄県、補助率: 2/3 | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位: 百万円) | 予算の状況 | 当初予算 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度要求 | |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | 118 | 150 |
| | | 繰越し等 | - | - | - | - | - | - |
| | | 計 | - | - | - | - | 118 | - |
| | 執行額 | - | - | - | - | - | - | |
| | 執行率 (%) | - | - | - | - | - | - | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 目標値 (23年度) | |
| | 平均滞在日数 (第3次沖縄県観光振興計画) | 成果実績 | 日 | / | / | / | 4.18 | |
| | | 達成度 | % | / | / | / | | |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度活動見込 | |
| | 地域主体の観光誘客の事業化支援件数 | 活動実績 (当初見込み) | 件 | / | / | () | — (8) | |
| | | 算出根拠 | 一箇所当たり 19百万円×2/3(補助) | | | | | |
| 単位当たりコスト | 13(百万円/件) | | | | | | | |
| 平成23・24年度予算内訳 | 費目 | 23年度当初予算 | 24年度要求 | 主な増減理由 | | | | |
| | 補助金 | 77 | 検討中 | | | | | |
| | 委託費 | 39 | | | | | | |
| | 沖縄県事務費 | 1 | | | | | | |
| | 計 | 117 | | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|---|--|--|
| | 評価 | 項目 | 特記事項 |
| 目的 状況・予算 の | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | 沖縄の観光については、県のリーディング産業として、自立型経済の構築のため、その振興は国の責務である。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 | |
| | ○ | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の 流れ、 費目・ 用途 | ○ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | ○イベント支援は、沖縄の文化・芸能を活用した観光誘客を目的とした取組として、選定方針や募集要領において明確にした上で広く公募し、30件の応募件数の中から、有識者による点数方式により上位11件を選定。 ○イベント全体を支援対象とするのではなく、沖縄の文化・芸能を活用した観光誘客の取組との関係が明確な事業に限定。 |
| | ○ | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績 、 成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | 地域の創意と工夫を活かした取組の支援として、初期リククの軽減や意欲の喚起といった点で他の手段に比べ高い効果が期待できる。 |
| | — | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | — | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | — | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | — | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検 結果 | 23年度新規事業ということで、記載できる項目は少ないが、適切な執行のために注意深く進めていく。 | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| | | 調達に当たってはコストを精査の上、縮減を図るとともに、競争性・透明性の高い発注先の選定方法を導入するよう補助先を指導すべき。 | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| 予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。 | | | |
| 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| | | | |